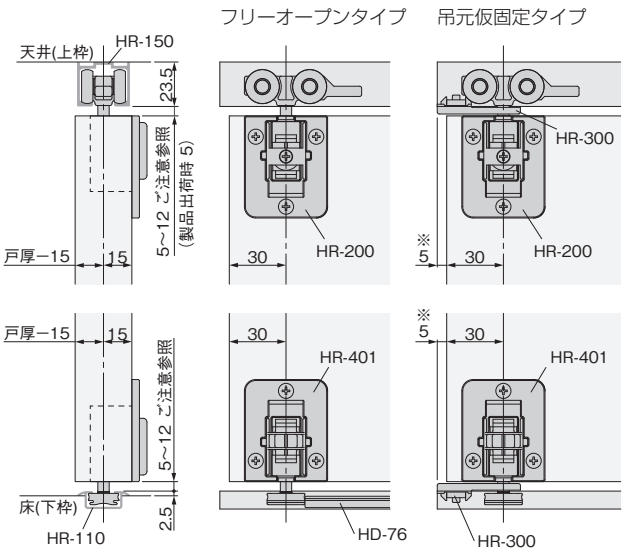
使用条件

◇折戸1組の総質量:30kg以下　◇戸の厚さ:26mm以上　◇折戸1組の戸幅:800～900mm
※折戸1組とは2枚の戸板を丁番で接続した状態を示しています。
折戸を構成する戸の枚数は2枚に限ります。3枚以上の連結はできません。

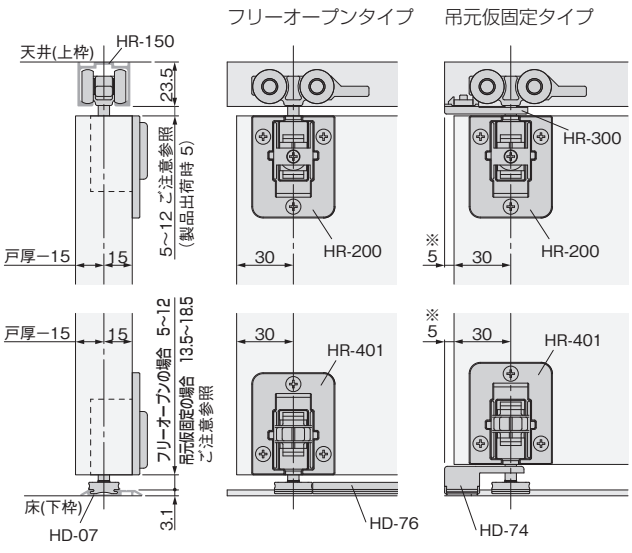
設計ガイド

■金具の納まり参考図

下部レールにHR-110を使用の場合

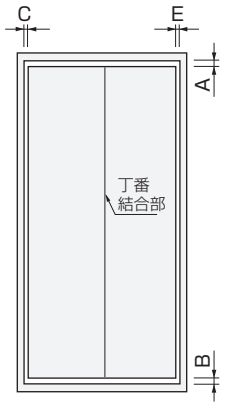


下部レールにHD-07を使用の場合



※吊元仮固定用キャッチを使用した時は、戸と枠の間に5mm以上の隙間が生じます。下表「吊元固定の場合の吊元側すきま寸法」参照

■戸と枠(またはレール)との必要すきま寸法



●上のすきま
A=上部レールと戸の間のすきま寸法=5～12

●下のすきま
B=下部レールと戸の間のすきま寸法
HR-110の場合=5～12
HD-07でフリーオープンの場合=5～12
HD-07で吊元仮固定の場合=13.5～18.5

●左右のすきま(折戸1組の場合)

C+E(フリーオープンで吊元仮固定キャッチを使用しない場合)
使用丁番:HD-35

戸厚/戸幅	400	450
26	3.0	2.6
30	3.7	3.3
33	4.3	3.8
35	4.7	4.2
40	5.9	5.2

ご注意

上下のすきま寸法は、AとBの最小値どうしを足した寸法(HR-110を使用の場合、HD-07でフリーオープンの場合=10mm、HD-07で吊元仮固定の場合=18.5mm)、あるいは最大値どうしを足した寸法(HR-110を使用の場合、HD-07でフリーオープンの場合=24mm、HD-07で吊元仮固定の場合=30.5mm)に設定しますと、戸の上下調整ができませんのでご注意ください。
上下のすきま=Aの最小値+Bの最小値+調整に必要な寸法
(ただし、HR-110を使用の場合、HD-07でフリーオープンの場合:
10mm<上下のすきま<24mm
HD-07で吊元仮固定の場合:18.5mm<上下のすきま<30.5mm)
すきま寸法は、枠や床のたわみや、戸の反りの発生などを考慮のうえ、余裕のある寸法を設定してください。

C+E(吊元固定の場合)
使用丁番:HD-35

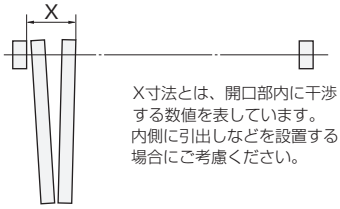
戸厚/戸幅	400	450
26	7.2	6.9
30	7.5	7.2
33	7.7	7.4
35	9.0	8.6
40	12.4	12.0

Cまたは**E**が吊元固定の場合の吊元側すきま寸法

戸　厚	C (またはE)
26	5.0
30	5.0
33	5.0
35	6.1
40	9.1

※戸幅400mm未満で使用する場合にはご相談ください。
※上記の左右すきまは「上下の車の軸位置=戸端から30mm」として算出しています。
※丁番結合部のすきまは0mmの設定です。

■戸を開けた時のX寸法



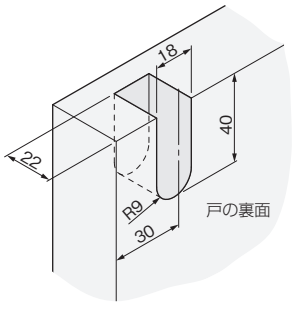
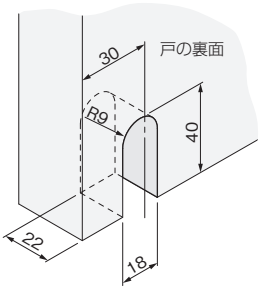
X寸法とは、開口部内に干渉する数値を表しています。
内側に引出しなどを設置する場合にご考慮ください。

●フリーオープンタイプでHD-76(走行安定用スペーサー)を使用しない場合
戸厚26～35mmの場合　X=戸厚+92mm
戸厚36～40mmの場合　X=戸厚×2+57mm
●フリーオープンタイプでHD-76(走行安定用スペーサー)を使用する場合
戸厚26～33mmの場合　X= 戸厚+134mm
戸厚34～40mmの場合　X=戸厚×2+101mm
●吊元仮固定タイプの場合
X=戸厚+100mm+吊元すきま寸法

※上記計算式は「使用丁番HD-35」、「上下の車の軸位置=戸端から30mm」として算出しています。

■戸の加工寸法参考図

上部吊り車(HR-200)
の取付け加工寸法



下部ガイド(HR-401)
の取付け加工寸法